

## 地図にかいてみよう

元創価大学教育学部 教授 吉田和義

# スーパーマーケットの品物はどこから

### 品物の産地調べ

小学校3年社会科に品物の産地を調べる学習があります。学習指導要領では「販売の仕事」の学習に関して「他地域や外国との関わり」に着目するよう示されています。スーパーマーケットや商店を見学する学習活動が位置づけられ、売られている品物の産地を調べます。見学のまとめをするときに日本地図や世界地図を活用します。子どもは、品物の産地を地図に表現する活動に取り組みます。

### 位置情報の獲得

子どもはスーパーマーケットや商店の見学でさまざまな商品の産地を調べます。例えば、バナナに、「フィリピン産と書いてある」ことを発見します。見学のときに、発見した情報を見学カードにメモするようにします。そして見学後の授業でこの情報をもとにさまざまな品物の産地を、地図を活用して表現します。

子どもは、例えばフィリピンという地名を見つけても、世界の中のどこにフィリピンがあるのか分からない場合が少なくありません。位置が分かるようにするために、地図帳の世界地図を活用し国や地域の場所を確かめる学習が非常に重要になります。**調べた事柄に位置情報を与えることが大切です。子どもが世界像を形成し、その中に地名を位置づけることが求められます。**

学習では、地名と商品名を書き入れるカードを用意し、調べたことをカードに書いて整理します。それをもとに世界の白地図に地名と品物を書き入れるようにします。

例えば、フィリピンの場所に国名とバナナ、チリの場所に国名とさけ、ニュージーランドの場所に国名とキウイフルーツと書き入れます。自分で調べた品物の産地を次々に書き入れていきます。

### 日本まで届けられるルート

世界地図に品物を書き入れたら、白地図上で品物の産地から日本まで、届けられるルートを考え、指でたどります。海上または陸上のルートを想定してたどるようにします。

さけの産地のチリから日本への海上のルートは、太平洋を進むこととなります。どこの海を通るのか、またどこの国や地域の近くを通るのか言葉で表現します。例えば「太平洋を通ります」「赤道を通過します」などと言いながら地図を指でたどるようにします。

### 世界地図を身近に

世界地図に親しむことにより、世界の大きな形をとらえることが重要です。地図帳の世界地図を開き、地名、大陸や国の形や位置を確かめながら地図の活動を進めます。地図の活動を通して、世界の中における日本および、さまざまな国や地域の位置が分かるようになります。子どもは、スーパーマーケットや商店では、お客さんによりよい品物を買ってもらうために、世界の各地から品物が届けられているという事実を具体的に実感できます。これは、お店の工夫を追究することに結び付きます。

日本地図についても世界地図と同様の学習活動が可能です。

地図にかいてみよう

品物の産地を調べよう！ 世界

年 組 番  
名前

① スーパーマーケットの品物の産地を調べ、□に書き入れましょう。

例 1

品物
さけ
産地
チリ

例 2

品物
バナナ
産地
フィリピン

品物
産地

品物
産地

品物
産地

② 世界地図の産地の場所に、地名と品物を書き入れましょう。

まず、例1にならって、例2をやってみましょう。

それから、自分で調べたものについて書き入れましょう。



③ 商品の産地の国や地域から日本までのルートを、指でなぞってみましょう。

④ 日本までのルートに、例1にならって線をかき入れましょう。

⑤ ルートのとちゅうに通る海や国の名前を言ってみましょう。

チリから日本へのルートは、  
太平洋を進みます。  
赤道を通ります。



2024年10月作成 教授用資料 帝国書院

注目!

ワークシート「品物の産地を調べよう！世界」のA3判PDFデータを、  
帝国書院ウェブサイトに掲載しています。ぜひダウンロードしてご活用ください。



Webサイトは  
こちらから